



JREU TOKYO 業務部速報



2026.10.07 No.005

発行：J R 東労組東京地本 業務部

「渋谷事業本部の運営体制の見直しについて」

提案を受ける！その③

提案時の主なやり取り(続き)

組合	会社
(渋谷駅)車掌用 ITV について変更点はなにか	3 番線 NEX12両用が新設。現行 4 力所の既存の ITV は画角調整する。湘南新宿 15 両・10 両、NEX12両は 4 画面 5 モニタに変わる。 4 番線 現行3か所の既存の ITV は画角調整する。 立ち番用 ITV は施策実施後に撤去。
停目変更は大きい、混乱する。関係乗務員区への周知は	漏れがないようしっかり行っていく
施策実施されていないのに「安全にドアを閉めれる」その根拠はなにか	画角のチェックなど 立会いを行い確認 してもらった
立ち合いに携わったのは一般乗務員か指導担当か 具体的にどこか	指導担当だ (いずれも当時)大宮統セ、湘南統セ、小田原統セ、新宿統セ
停目が大きく変わるが停目の色分けなど誤認防止の対策は グリーン車に位置を合わせるための停目移設だが限界内だが停止位置がずれてしまった場合は退行するのか 今施策を進める主体は上野事業本部か渋谷事業本部か	停目移設に関する部隊がすでに行っているが、 我々がその資料を持ち合わせていない グリーン車位置に合わせる(退行)ことが好ましい。 首都圏本部時代から計画していたので我々(上野事業本部)が責任もって行っている

同じ「10 両停目」でも100m(20m×5 両)違う

ヒューマンエラー(間違い・誤認)防止対策は

会社が責任もって施策実施までに対策すべきだ！

その④へ続く